

第1回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、多くが在宅生活を送るようになっていきます。しかし、その支援を行うための医療・福祉などの社会資源は限られており、連携も不十分な状況にあります。岐阜県では、自宅で生活する障がい児(者)に対する医療・福祉サービスの充実を図るため、医療・看護・福祉・教育・行政などの関係者が一堂に会し、課題の解決に向けて知恵を出し合うとともに、顔の見える関係をつくる場づくりを目指し、岐阜県小児在宅医療研究会を開催いたします。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時:平成26年2月16日(日)13:00~17:30(開場:12:30~)

会場:岐阜県総合医療センター 情報交流棟 3階講堂

(岐阜市野一色4-6-1)

※公共交通機関での来場にご協力ください(裏面地図参照)

定員

200名様

(先着順)

【参加無料】

プログラム

13:00~13:05 開会あいさつ

久保田 芳則 岐阜県健康福祉部次長

13:05~13:25 基調発言

「岐阜県における小児在宅医療の現状と課題」

矢嶋 茂裕 岐阜県医師会常務理事・矢嶋小児科小児循環器クリニック院長

13:25~14:45 基調講演

「医療と福祉の協働で支える小児在宅医療」

前田 浩利 医療法人財団はるたか会理事長・あおぞら診療所新松戸院長(千葉県松戸市)

15:00~16:55 パネルディスカッション

<座長>

深尾 敏幸 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学教授

今村 淳 岐阜県総合医療センター小児科部長

○報告:15:00~16:00

① 開業小児科医から見た小児在宅医療の課題

福富 悌 福富医院院長

② NICUからの在宅移行支援の課題

下平 悦子 国立病院機構長良医療センター医療社会事業専門員

③ 小児訪問看護の現状と課題

中川 奈緒美 下呂訪問看護ステーション管理者

④ 希望が丘学園における短期入所事業の課題

水畑 真由美 岐阜県立希望が丘学園看護部上席看護師長

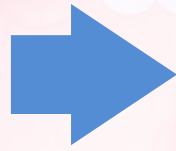
○ディスカッション:16:00~16:55

16:55~17:00 岐阜県からのお知らせ・閉会あいさつ

都竹 淳也 岐阜県健康福祉部地域医療推進課総合療育推進室長

17:00~17:30 名刺交換会

お申込み先



お申し込みはFAXでお願いいたします
FAX:058-278-2871

総合療育推進室:山田・藤川

締切:平成26年1月31日(金)

第1回岐阜県小児在宅医療研究会 出席申込書

申込者所属 (施設名など)		
申込者 連絡先	(住所) 〒 —	
	(TEL)	(FAX)
(フリガナ) 出席者氏名	1	(職種:)
	2	(職種:)
	3	(職種:)
	4	(職種:)
	5	(職種:)
ご連絡事項	★参加にあたり車イスなど特別な対応が必要な場合はご記入ください ★保育サービスはございませんので予めご了承ください	

会場へのアクセス

会場：岐阜県総合医療センター 情報交流棟3階講堂

(〒500-8717 岐阜市野一色4-6-1)

岐阜バス「岐阜県総合医療センター」下車または「岐阜県総合医療センター口」下車、徒歩5分

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用
にご協力ください。(駐車場は有料です)

次回から本研究会の案内が不要の場合は、申込者所属(施設名など)をご記入のうえ、下記を○で囲んでFAXでご回答ください
(次回から送付を遠慮させていただきます)

次回から、この研究会の案内の送付は不要です

